

## わがまちの教育 (教育委員会)

## 地域の子どもは地域で守り育てよう

## —関係機関との行動連携による支援—

## 香美市教育支援センター「ふれんどるーむ」

子どもの笑顔が絶えない地域社会をめざして

そんな願いにこたえるために、さまざまな教育課題に関係機関や地域の方々と連携した方策を探りながら、次のような歩みをしてきました。

## 《学校・家庭・

## 関係機関との連携》

・ 関係機関と連携した子ども支援ネットワークの整備と充実を図る。

・ サポート（支援や援助）の必要な事案に対するケース検討会の実施とサポートチームの編成のあり方を検証する。

・ 香美市不登校・特別支援教育について考える会を立ち上げる。

・ 各地で行われるミニ集会へ出向き、地域のニーズ等の把握に努める。

・ 学校と地域・関係機関の連携ネットワークのあり方について講演会を実施する。

・ 不登校・特別支援教育担当者会を実施する。

## 【実践後の状況】

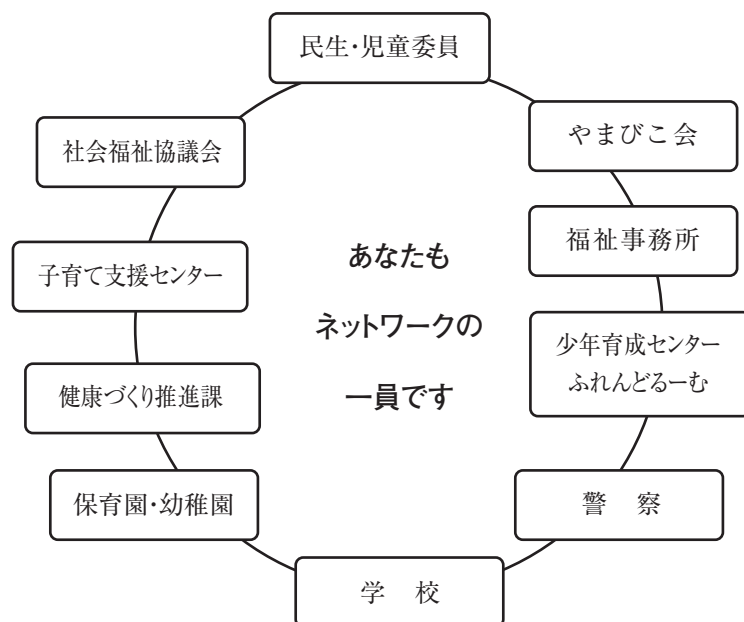
登校できない等、子どもたちのさまざまな課題について、学校だけ・家庭だけで取り組むことは次第に困難になり、各関係機関の特性を生かした連携が重要であることが認識できました。

現在はサポートチームによる支援など、関係機関との行動連携による取り組みができるようになりました。子どものことで困った事があればいつでもご相談ください。

## 《不登校児童生徒および保護者への支援》

・ 子どもの状況と保護者の思い等を学校と共有し、

## 子どもと家庭を地域ぐるみで応援しよう！



連携して適切な対応を探りながら、お互いが補完しあえる方策について研究する。

・ 「ふれんどるーむだより」を定期的に発行し、地域・家庭のあり方等について啓発に努める。

・ 教育相談活動を、来所・

訪問・電話・通信などあらゆる方法で実施し、子どもの課題とその背後にある家庭の課題を探り、それぞれのケースに対する方策を研究する。

・ 来所できる子どもたちには、状態に応じてカウンセリング・生活指導・学

習指導を実施し、自信と意欲の向上に努める。

### 【実践後の状況】

子どもたちへの対応について、カウンセリング・生活指導・学習指導などを重ねながら、状態を見ながら短時間でも担任と話す機会を設定するなど、学校と疎遠にならないように配慮した結果、三人が元気に学校復帰を果たすことができた。

登校できなくなった時、『家庭だけで何とかしよう』ではなく、誰か・どこかの機関に相談しましょう。

### 《子どもたちに 人のぬくもりを》

・広報等の啓発活動の中で、家庭教育や子どもたちへの声かけの重要性を知らせる。  
・子どもの居場所づくり・親子のきずなについて啓発に努める。

【実践後の状況】  
いつでもどこでもできる

「おはよう」「おやすみ」「元氣かね」の声かけの重要性をそのつど伝えてきました。

以前は、中学生になると返事が返ってこないとか、声をかけにくいとほとんどの人が言っていました。最近はこちらからあいさつすると、「結構いい返事があった」、「相手が先に声をかけてくれる」と言った言葉が耳にするようになりました。

地域の方々の声かけにより、子どもたちに人のぬくもりが伝わっているなど感じています。

これからも、生活体験豊かなおとなが子どもたちに声かけによる人のぬくもりを伝えてやってください。

### 《家庭に関する 相談》

昨年度は家庭に関する相談が多くなりました。

家庭の不和・養育放棄など子どもにとってもしんどい課題が多くなりました。

幼い子どもたちにとって、家庭内の不和は後々まで心の傷として残ります。

家庭でしかできない親子のきずなをしつかり築きましょう。そのため家庭で、親子が共感しあえる人間関係を築きましょう。  
・上手に誉めることのできる親になりましょう。  
・お互いが思いやる気持ちを持ちましょう。



◆『ふれんどるーむ』  
香美市土佐山田町東本町2-1-20（市立図書館の2階）  
☎・FAX 53-1096

## 子ども見守りボランティア募集

子どもたちの安全安心なくらしを守るための組織として、地区補導員「やまびこ会」と「スクールフレンド」があります。

### 地区補導員

#### 「やまびこ会」

土佐山田町の各小学校で組織されており、現在、百七人の方が登録しています。

登下校時に、子どもたちへの声かけや、学校・地域の行事に参加し、子どもたちとふれ合ったり、夏祭りの巡回等の活動を行っています。

### スクールフレンド

各小学校に組織されており、現在六十八人の方が登録されています。

学校内外で心配されるようなことはないか、学校に出向いて子どもたちの様子を見守ったり、行事などを通して交流を深めたりしています。

このような活動に助けられて、子どもたちは見守られているという安心感の中で生活ができています。

このようなボランティアに参加して、子どもの健やかな成長と一緒に見守っていただける方は、育成センターまでご連絡ください。

### ◆少年育成センター

☎ 53-1083  
FAX 52-4633

▶あいさつ運動を呼びかけるポスター

